



2027年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年10月29日

東・名

上場会社名 株式会社ショクブン

上場取引所

コード番号 9969

URL <https://shokubun.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 三枝 俊幸

問合せ先責任者（役職名） 経理財務部長

（氏名） 宮尻 隆誠

TEL 052-773-1011

半期報告書提出予定日 2026年11月13日

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無

：有

決算説明会開催の有無

：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期中間期	2,783	—	△41	—	△45	—	△57	—
2026年3月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	△3.72	—
2026年3月期中間期	—	—

（注）当社は、2026年3月期第2四半期（中間期）は連結業績を開示しておりましたが、2026年3月期第3四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2026年3月期第2四半期（中間期）の経営成績（累計）及び対前年同中間期増減率を記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	％	百万円	％	％
2027年3月期中間期	4,273	—	2,246	52.6	52.6
2026年3月期	4,397	—	2,342	53.3	53.3

（参考）自己資本 2027年3月期中間期 2,246百万円 2026年3月期 2,342百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
2027年3月期	—	0.00	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	—	—	2.50	2.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 ： 無

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	6,140	2.2	43	50.1	26	52.8	2	—	0.14

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 ： 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期中間期	17,691,669株	2026年3月期	17,691,669株
2027年3月期中間期	2,354,001株	2026年3月期	2,353,996株
2027年3月期中間期	15,337,669株	2026年3月期中間期	15,337,696株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、中東情勢や自然災害の影響がみられるものの、緩やかな回復基調となっております。雇用・所得環境の改善が進む中で個人消費は持ち直す動きがみられているものの、消費者マインドの動向については引き続き注視していく必要があります。

当社が属する食品宅配業界におきましてはエネルギー価格および原材料価格の高騰の影響により、消費者の節約意識は依然として継続しており引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、「持続可能な収益体制の構築」をテーマとして構造的な改善を推進しております。これに基づく3つの方針を下記の通り推進しております。

【方針1 デジタルシフト化への対応】

顧客との接点強化と適切なデータを把握・活用できる体制を目指します。

顧客・サービスの分析に活用するデータ活用に向け、基幹システムの入替が進捗中であります。会計・仕入・在庫部門は概ねの導入が完了し、特に仕入・在庫については管理の適正化を推進しております。また、デジタル広告やSNSの広告戦略と、ECサイト利用顧客比率を上昇させ顧客との接点を強化することによりデジタルマーケティングの推進を行っております。

【方針2 アクティブユーザー数の減少の歯止め】

既存顧客の不満解消・利便性向上を行います。

6月15日からは顧客満足度向上に向けて4つのコースを自由自在に組み合わせてご注文いただけるようにした「選んで! 晩ごはん」を開始しました。その他、ポイントサービスでの交換選択肢の拡充や、品質向上に向けた対策等を推進しております。

【方針3 収益力の向上】

適切で効果的な施策の執行を行います。

設備投資、広告戦略は効果検証を十分に行った上で執行しております。その他、2026年5月から化粧品、10月からはペットフードの取扱いを開始しており、既存の配送ルートを使用して新たな売上高創出に取り組んでおります。

これらの取り組みを推進しており、材料原価のコントロール精度は向上したもののアクティブユーザー数は直近1年間で4.5%の減少となり、引き続き邁進していく必要がございます。

これらの結果、当中間会計期間におきましては、メニュー商品売上高は26億29百万円、特売商品売上高については1億53百万円になりました。

売上原価につきましては、品質向上を目的に蓄冷資材の使用量が増加したこと等により包装資材費が高騰したものの、材料原価、製造経費のコントロールにより、売上原価率は61.7%となりました。

また、販売費及び一般管理費については、業務効率を向上させたことによる人件費の減少と、販売施策見直し等により11億7百万円となりました。

これらの結果、当中間会計期間の業績は、売上高は27億83百万円、営業損失は41百万円、経常損失は45百万円、中間純損失は57百万円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間会計期間末の総資産は、現金及び預金が255百万円減少、売掛金が110百万円増加、前払年金費用が11百万円増加したこと等により、前事業年度末に比べ124百万円減少の4,273百万円になりました。

負債につきましては、短期借入金が160百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が47百万円減少、長期借入金が25百万円減少したこと等により、前事業年度末に比べ29百万円減少の2,026百万円になりました。

純資産につきましては、中間純損失の計上57百万円、資本剰余金の配当38百万円により、前事業年度末に比べ95百万円減少の2,246百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の通期業績予想については、2026年5月14日に公表しました予想に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当中間会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	473,814	218,368
売掛金	449,386	560,284
原材料及び貯蔵品	95,772	102,518
その他	24,097	39,358
貸倒引当金	△1,152	△1,752
流動資産合計	1,041,917	918,777
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	414,861	405,346
土地	2,070,031	2,070,031
その他(純額)	278,164	257,566
有形固定資産合計	2,763,056	2,732,944
無形固定資産	102,685	119,452
投資その他の資産		
投資有価証券	7,503	7,503
前払年金費用	394,412	406,334
その他	89,344	88,382
貸倒引当金	△1,371	△278
投資その他の資産合計	489,889	501,940
固定資産合計	3,355,630	3,354,337
資産合計	4,397,548	4,273,115
負債の部		
流動負債		
買掛金	229,698	224,740
短期借入金	500,000	660,000
1年内返済予定の長期借入金	493,776	446,280
未払法人税等	20,429	10,300
賞与引当金	51,880	52,091
契約負債	30,263	36,742
その他	364,809	298,763
流動負債合計	1,690,857	1,728,917
固定負債		
長期借入金	26,600	1,400
繰延税金負債	113,515	112,124
資産除去債務	36,514	36,594
その他	187,947	147,389
固定負債合計	364,577	297,508
負債合計	2,055,434	2,026,426

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当中間会計期間 (2026年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,230,160	3,191,815
利益剰余金	145,668	88,589
自己株式	△1,133,715	△1,133,716
株主資本合計	2,342,114	2,246,688
純資産合計	2,342,114	2,246,688
負債純資産合計	4,397,548	4,273,115

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)	
当中間会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)	
売上高	2,783,253
売上原価	1,716,712
売上総利益	1,066,540
販売費及び一般管理費	1,107,727
営業損失(△)	△41,186
営業外収益	
受取利息及び配当金	72
受取手数料	2,262
受取賃貸料	947
受取保険金	1,369
その他	1,324
営業外収益合計	5,976
営業外費用	
支払利息	9,869
その他	261
営業外費用合計	10,130
経常損失(△)	△45,340
特別損失	
固定資産除却損	2,818
特別損失合計	2,818
税引前中間純損失(△)	△48,158
法人税、住民税及び事業税	10,311
法人税等調整額	△1,391
法人税等合計	8,920
中間純損失(△)	△57,079

(3) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、食品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。